

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 34:18-20 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 25番
- *交読文 …… 13番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 179番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 487番
- メッセージ …… 恥のどん底で御言葉を誉めたたえたダビデ(1サムエル記 21 章)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 466番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

あなたは____のさすらいを数えられました。____の涙をあなたの皮袋にたくわえてください。これは皆あなたの書に／しるされているではありませんか。____が呼び求める日に、____の敵は退きます。これによって神が____を守られることを知ります。

____は神によってそのみ言葉をほめたたえ、主によってそのみ言葉をほめたたえます。____は神に信頼するゆえ、恐れることはありません。人は____に何をなし得ましようか。神よ、____があなたに立てた誓いは／果さなければなりません。____は感謝の供え物をあなたにささげます。あなたは____の魂を死から救い、____の足を守って倒れることなく、いのちの光のうちで神の前に／____を歩ませられたからです。(詩篇 56:8-13)

人は、あまりに理不尽で過酷な状況が続くと、どんな信仰の強い人でも、つい、世的・肉的な手段に頼って、もっと悪い状況に陥ってしまう事もあるが、その中でも主に叫び求めるなら、主は必ず聞いて下さる。主が敢えて過酷な状況へ導かれるのは、彼の奥深くにひそむ世的・肉的な事に頼る要素をいぶり出し、断ち切り、ただ主こそ真に頼れるお方である事を体験させるためである。今回も、ダビデから学びたい。

ダビデはサウルから追われ、家にも、サムエルの所にも、ヨナタンの所にも居場所が無くなってしまった。頼り所がことごとく指の間から落ちてゆく彼の行った先は、主を礼拝する所、祭司アヒメレクの仕えている所の幕屋だった。彼は普段は、喜んで礼拝者達と共に礼拝しに来ていたものだが、今や彼は着の身着のまま追われ、疲れ、やつれた出で立ちで来た。祭司アヒメレクは彼に、恐る恐る、なぜ一人なのかを聞いた。『王は、ある事を命じて、『おまえを遣わし、おまえに命じた事については、何事も人に知らせてはならない。』と私に言われました。若い者たちとは、しかじかの場所で落ち合うことにしています。』(2) ダビデは、うそを言った。それは自分の身を守るためであるが、結果的には、状況を悪くしてしまう。ダビデは祭司に、創作した事情を説明して食料と武器を求め、それで彼は、主の前に捧げられていた聖なるパンと、ゴリヤテの剣とを得た。聖なる主の食物と、汚れた者の力の象徴。実に対照的な二つである。ダビデはかつて、ゴリヤテからその剣を奪って首を切り離れた。当時の彼は、ただ、信仰だけが武器だった。当時彼は、剣や槍で立ち向かわず、ゴリヤテの剣よりも強い「御言葉の剣」で勝負し、勝利した。それなのに今回、彼は、ゴリヤテの剣を「それに勝るものはありません」と言って、受け取った。彼は今、何のために主の宮に来たのだったのだろう。主に頼るはずが、武器と嘘に頼ってしまった。

彼は理不尽な状況続きで、主への信頼は弱っていた。彼の状況は、同情して余りあるが、聖なるパンを食べる人が聖なるお方に頼らず、汚れた者の力に頼りを置いてしまう時、正常な判断を失い、狂った算段をしてしまう。『ダビデはその日サウルを恐れて、立ってガテの王アキシンのところへ逃げて行った。』(10) 彼はサウルから隠れるために、あるいは、もしやサウルに敵対する者からの保護を得られるかもしれない、敵国ペリシテに行ったのだろうが、自分が討ち取ったゴリヤテの剣を持って、ゴリヤテの故郷・ガテに行くのは、狂気の沙汰である事さえ理解できない程、彼の思いの中は、恐れ・不安・心配で、眩まされていた。ダビデはペリシテ人の地で「捕らえられ」てしまい(詩篇 56 編表題)、王アキシンの前に引き出された。ペリシテ人達は王に言う。「これはあの国の王ダビデではありませんか。人々が踊りながら、互に歌いかわして『サウルは千を撃ち殺し、ダビデは万を撃ち殺した』と言ったのは、この人の事ではありませんか」(11) 彼らはダビデを「王」と呼び、また彼がゴリヤテを倒した時に女達が歌った歌も知っており、そして彼は、ゴリヤテの剣を身に帯びていた。ダビデが恐れるに十分だった。この絶望的状況の時、彼は心を主に向けた。ダビデは、アキシニに捕らえられた時の心境を、詩篇56編で詠んでいる。この詩篇で、彼はただ主の憐れみを求め、自分の状況を告白し、御言葉を誉めたたえ、最後は、感謝で終わっている。この一連の祈りの中で、彼は救われる確信を得たのだ。彼は『人々の前でわざと挙動を変え、捕えられて気が変になったふりをし、門の扉を打ちたたき、よだれを流して、ひげに伝わせた。』(13) 当時、男性のひげは権威の象徴であり、そこに対する侮辱は耐え難いものだった。ダビデのこの行動は功を奏し、王アキシニは、ダビデが「万を打った者」「イスラエルの王」の様子ではないのを見、彼を放した。あの栄光あるダビデが屈辱的な、本当に気が違ってしまったかのような方法でかろうじて救われた。私達も、恐れと心配のあまり、世の方法に頼ろうとするなら、恥と、気違い沙汰と、屈辱の底を通らなくてはならない。しかしダビデは、その中から救い出された時の大きな喜びを、詩篇34編で記している。「わたしは常に主をほめまつる。そのさんびはわたしの口に絶えない。わが魂は主によって誇る…。」(1-2) ダビデは、彼の誤った判断によって生み出された命の危機から、主の憐れみで救い出された事を、非常に喜んでいる。彼は、詩篇56編で3度も「みことば」をほめたたえた。(4、10) 彼は、この一連の事によって、信仰が回復し、悟ったのだ。ゴリヤテの剣より、御言葉の剣のほうが遥かに頼りになり、そして信仰の道こそ正しいと。私達も、恐れや不安によって命の危機に陥り、狂気の沙汰と恥のどん底をくぐる事はある。それでも主に立ち返るなら、主は救って下さり、以前に増して、主に用いられるに相応しい器へと造り変えられるのだ。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube